

## ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト

名張市子ども条例に基づく子ども会議(通称:ぱりっ子会議)では、名張市内の子ども達が自分たちの街をより良くするために考え、市に提言する活動が行われています。私たちは、子供たちの話し合いに参加し、意見をまとめたり、言葉掛けを工夫して意見が出やすいようにしたりし、提言に結び付けられるようサポートを行っています。

### \*TEAM DATA\*

メンバーナンバー数：5名  
活動場所：名張市  
実施主体：名張市子ども家庭室  
担当教員：山本 智子（教育学部）  
活動年度：R01, R02, R03

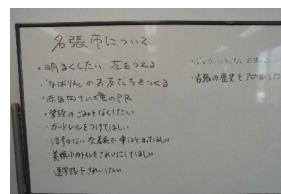


### 月別活動

(9月) ぱりっ子モールに向けての準備

(10月) ぱりっ子モールに向けての準備

(11月) ぱりっ子モールに向けての準備



(12月) ぱりっ子モール開催



## 活動を通して学んだこと

ぱりっこ会議の活動を通して、コミュニケーションの取り方や、沢山コミュニケーション取ることの大切さを学びました。ぱりっこ会議は、子供たちの意見を聞き、その意見についての案を練るという活動ですので、子供達とのコミュニケーションが非常に重要になります。中には、思っていることがあっても上手く伝えることができない子や、人と話すことが苦手な子などがいます。そういった子供たちの意見を最大限に引き出すために、コミュニケーションの取り方を工夫したり、沢山話しかけたりして活動を進めました。また、子供たちはだけではなく、マイク運動さんや名張市さんなど、多くの方と関わる機会がありました。皆で意見交流を重ねて、より良いものを作り上げていくことの楽しさを実感することもできました。今年度もコロナウイルスの影響で、ぱりっこ会議に参加することが少なかったのですが、私たちとぱりっこ会議の運営の方で、まとめた子供たちの意見が、少しづつ形になっていくことがやりがいに繋がりました。

## 実施主体からのコメント

名張市子ども家庭室  
ご担当者様

「学生さんが頑張っているのが伝わりました」「ロビーでの学生の皆さんの活動、頑張っている姿がとても良かった。お疲れさま。」

アンケートにあった皆さんへのお褒めの言葉です。

人が何かを伝えようとする姿、また喜んでもらおうとする意志は通じると改めて勉強しました。計画から実行まで熱心に携わっていただき本当にありがとうございました。

いくつもの失敗もこれからの糧として活かしてください。

そして地域や企業、様々なステークホルダーに目を向けて幅広い視野で活躍できる社会人になるよう期待しています。



## 担当教員より

教育学部 山本 智子

今年度もコロナ禍で前半の活動に参加できない中、実施主体の名張市及びMIK運動と連携しながら、よく取り組めたと思います。感染防止対策に努めながら子ども達への対応を試行錯誤したことは、ぱりっ子会議の運営に貢献する原動力になったと思います。この体験を生かし、これから出会う様々な課題にも主体的に、工夫して取り組んでいくことを願っています。



## 成果物／制作物